



編集発行
 公益財団法人 不老会
 〒460-0008
 名古屋市中区栄
 2丁目10-19
 名古屋商工会議所内
 9:00~12:00 13:00~17:00
 土日祝休
 電話 (052)203-4580
 FAX (052)253-7123
 ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>

新春対談

公益財団法人不老会

理事長 久野 格彦
 副理事長 杉浦 康夫
 副理事長 山本 一義

新しい年を迎えコロナ禍の中、
 献体活動の今後への想いをお話し頂きました。

久野理事長…昨年は、新型コロナ
 ウイルスの感染拡大により、不老
 会の重要なイベントが、次々に延
 期や中止を余儀なくされました。
 昨年度成願者の顕彰式は、ご遺族
 の安全を第一に考え、関係者のお
 招きができませんでした。大学関係者
 は一部代表者のみ、不老会も一部

の役員のみに限られたメンバーに
 よる例年と異なる形での開催とな
 りました。また、一部の大学にあつ
 ては、解剖学実習の授業も滞り気
 味になり、献体の受け入れも困難
 な事態が発生してしまいました。
 山本副理事長…名古屋大学では、

一時、献体の受け入れが中止を余
 儀なくされましたが、七月から再
 開になり、愛知医科大学では、九
 月からの再開になりました。
 また、名古屋市立大学及び藤田
 医科大学では、通常通りの受け入
 れで変更はありません。

一方、愛知学院大学は大学側の
 事情で、当分の間、受け入れ中止
 と通告があり、愛知学院大学から
 他大学へ登録変更を希望する会員
 様には、その手続きが進められて
 おります。

なお、理事長からも、この度の
 事情により会員様、ご遺族様が当
 惑しないための出来る限りの措置
 を講じられるよう大学側に申し入
 れされました。

杉浦副理事長…名古屋大学では、
 感染症でなくても肺炎（誤嚥性肺
 炎など）の場合は受け入れが出来

迎春

皆様ごまの
 い健康と
 ご多幸と
 お祈り
 申し上げます
 山本

令和三年元旦

公益財団法人 不老会

理事長 久野 格彦
 副理事長 杉浦 康夫
 副理事長 山本 一義
 役員一同





久野理事長

ないことになりましたね。確かに、献体者は息をしていますが、問題が無いように思いますが、受け入れ側は直に接触しますからね。ひと昔前は、受け入れ側の健康を害するほどの過剰な防腐措置をしていました。

まあ、事態が落ち着き予防接種が進むまでは止むを得ませんね。

久野理事長…会員みなさんは感

染しないようにご注意くださいかね。いと。

実際コロナ禍が影響してか入会者も減少していますね。感染症が無くても成願ができないのでは：との不安からでしょうか。

杉浦副理事長…コロナ感染の疑い(陽性)があれば、大学側としては献体の引き取りは困難でしょうね。欧州では、コロナの感染で亡くなった方が遺族へ遺体を渡さな

いで病院側が埋葬する報道がされていますので、余計に、入会に消極的なのでしょう。今後、五大学連絡協議会には、献体者の受け入れ条件について改めて協議をお願いしたいですね。

山本副理事長…大学側で受け入れが出来なくなると何ともなりません。特に今回のような災害や緊急

事態の場合は、残念ですが、普通の火葬にしろうしかありません。でも、医療技術は日進月歩です。医・歯学生さんの解剖実習のほかに、今や現役の先生方のサージカル(手術・手技)トレーニングを必要とされていて、一層腕を磨いていただいで多くの患者さんの命を救って欲しいと思っっています。そのためにも、不老会の協力が不可欠と思います。

久野理事長…ところで、今回のコロナ禍で、私の生業が大きく影響を受けました。なにしろ、人に会う事が基本の仕事なので、動きが全く取れなくなり、社業における役割が一瞬にして消失してしまっ

たんです。仕事から北は北海道から、南は沖縄まで、四六時中走り回っていたのに、「コ・ロ・ナだから、来るな！」



杉浦副理事長

(大笑い)と言われてしまう始末です。

名古屋学芸大学の学長さんである杉浦先生の大学では、如何でしょうか？

杉浦副理事長…教育関係に於いても大変です。何しろ学生の前から直接的な講義が出来ませんからね。いくらスライドを用いて話をしても、立体的な語り掛けはとて

も困難を極め、ストーリーづくりは大変な労力を費やさねばなりません。

でも、コロナ禍を通して、教育コミュニケーションの在り方を多角的に取り組まねばならなくなつて、改めて教育における「危機管理の在り方」を学び直す良い機会になりました。

久野理事長…では、以前、地元的首長さんであられた山本さんの場合は如何でしょうか？

山本副理事長…私は「街づくり協議会」の代表をしておりですが、コロナ騒ぎが始まって以来、ほぼ一年近くは何のイベントも出来ませんでした。何にもやらないで、楽ちんでしたけど…(笑)。でも、若い方々から「サプライズ花火をやりたい！」との申し入れがあり、

市の協力を得て実現いたしました。が、その時、私は「ネット中継も良いが、何とか会場近くに人を集められないか？」と要請しました。ら、ネットで呼びかけてくれて、かなりの人が海岸に集まってくれました。

久野理事長…新型コロナウイルスの感染拡大は、実に多方面にいろんな影響を与えましたね。



山本副理事長

では、最後になりますが、新春にあたって、明るい話題を提供できたらと思います。まずは、少子高齢化が急ピッチで進んでいます。が、不老会会員の入会条件に「原則として三親等以内の成人四名の同意」が必要とされています。昨

今は独居老人で身寄りが無く、かつ施設に入居されておられる方が多数おられます。従って、施設の責任者との連携協力が不可欠になって来ました。ですから、その

ルール作りの整備が緊急に必要ではないでしょうか。また、不老会の会員の平均年齢も高齢化しています。成願者の平均年齢は男性が八十五歳、女性が八十七歳で、十年前に比べると三歳上がっているのが現実です。多分、会員の構成平均年齢も同様の傾向だと思えます。でも、私としては、もっと若い方々の会員にもっともっと親し

んでもらえるような通信手段を講じる必要性を痛感しています。今は「不老」誌が唯一の通信手段ですね。もちろん、ホームページも用意されていますが、会員各位が気楽に意見を投稿できるような双方向のホームページには至っておりません。是非とも、早急に実現

させて、もっと若い世代の共感や理解を深めるための提言コーナーを設ける必要があると思います。

山本副理事長…私が、何故献体を進んで志願したのかを振り返ると、初代理事長の久野庄太郎さんの設立した不老会の趣旨に共感し、子や孫のためにお役にたきたいと思ったからです。敢えて申し上げます、かつて愛知用水の建設に携わり犠牲になられた五十六名の犠牲者の供養を願い、「献体を通じて医学・歯学の発展に貢献する」と



不老会事務所にて

言うことで始まったのが不老会の献体活動です。しかも、この活動は、無欲であって、無条件・無報酬のもので。この不老会の有り様は、今までも、また、これから変わるものではありません。

我々会員は、今一度、この不老会の設立の趣旨を回顧すべきであると思います。

また、今の不老会の地区活動は、地区ごとに大きな開きがあり

ます。

ですので、一つ提案になります。が、「わが街自慢処の見学会」と言ったものを開催して、ご希望があればご案内も致しますが、何れにしても、その地域に合った活動や、もっと他の地区を訪ねたりして、交流を深め合えればと願っております。

久野理事長…メンバー間の交流はもっともっと盛んにしても良いと思います。

杉浦副理事長…ずっと昔の話になりますが、名古屋大学の解剖学教室の教師として携わった頃は、ご遺体の確保に四苦八苦の状態でした。設立当初の不老会からの供給は、まだ三割に満たない程で、東京はじめ各地に足を運んで引き取りに行き、霊柩車を県境で乗せ換



座談会

えるケースもありました。不老会からの一層の協力の必要性を痛感したこと、また、大変尊敬していた久野庄太郎さんの情熱に触れ、私も喜んで会に参画したことを思い出します。

久野理事長…ありがとうございます。不老誌先号の就任挨拶でも触れましたが、「長寿社会の日本で、まずは『健康』で充実した人生を

送り、その最後に『献体』という社会貢献を叶える」ことが大切です。正に『健康』と『献体』は表裏一体だと思えます。

不老会の活動をもっと世間にPRし、かつ会員相互の交流も一層深めて、会員各位のご協力とご支援を仰ぎたいと切に願っております。

果たして、最後に「明るい話題」の対談にこぎ着けられたかどうかしら？(笑)

不老会会員のみなさん、今年もどうか宜しくお願いいたします。



医学のおはなし

人体にはさまざまな骨と骨の連結部である関節が全部で百四十四個存在します。その中で肩の関節は人体において、もつとも動きの範囲が大きな関節とされています。

その肩の痛みに関しまして、「五十肩」という呼称を一度は耳にしたことがあるかと思えます。「五十肩」という呼称は江戸時代、一七九七年に発行された俚語集覧(りげんしゅうらん)という書物の中に、「凡、人五十歳ばかりの時、手腕、骨節の痛むことあり、程すぐれば薬せずして癒ゆるものなり、俗にこれを五十腕とも五十肩ともいふ。又、長命病という」と記載があります。これが日本における五十肩に関して最も古い記載とされています。これはつまり、五十歳前後で外傷などの誘因なく、発症する肩の痛みで、日本人の平均

寿命が三十歳代〜四十歳代であった江戸時代において、長命病と言われていたようです。

また、現代の医療の分野において、「五十肩」という病名は存在せず、「肩関節周囲炎」という病名として定義されています。一方で、「肩関節周囲炎」という名称の意味を文字から考えてみますと肩の炎

国においては痛みの原因は多様化してきております。さらに、超音波検査やMRI検査などの画像診断装置の進化が著しい現代においてはその痛みの原因は解明されつつあります。

肩関節周囲炎の原因として明らかになっているものとして、インナーマッスルと呼ばれる肩の深い状態からリハビリなどで動きを徐々に取り戻していくこととなります。痛みが高度な時期に無理にリハビリをすることで痛みの悪化を招く場合がありますので注意が必要です。

肩の痛み〜五十肩〜について

名古屋市立大学大学院
運動器スポーツ先進医学 講師

吉田 雅人

症ではなく、肩の周囲の炎症の意味となり、不思議な印象を与えるのではないかと思われます。ただ、実際にはその名前が示す通り、骨同士の連結である肩の関節の周りを支持する為に存在するさまざまな構成体の炎症がすべて含まれる名称であり、現在、男女の平均寿命がそれぞれ八十歳を超える我が

位置で関節を囲むように存在する腱板筋群の炎症やカルシウムの成分を含んだ石灰が沈着することにより惹起される炎症などが含まれていいることが分かっています。この炎症そのものは時間経過とともに多くのものは改善していくことも多いのですが、夜間も眠れず、また、じっとしている安静

また、痛みや腕が上がらないなどの症状が長期間継続する場合には関節そのものの変形や腱板筋群の断裂さらには頸椎の疾患による神経の障害が含まれている場合があります。そういった場合は整形外科を受診して頂き、その原因を明らかにした上で、それぞれの疾患や状態に合わせて治療をして頂くことが重要かと思えます。

常務理事紹介 (就任順)



広報委員長

藤内 美也子

日進愛知

○今後の抱負：昨年三月よりストップしているライフワークを再開したいと思います。

○好きな事：「空」を眺めること（朝焼け、夕

焼け、青空、曇り空、月と星、色々な雲）。

気持ち清々して元気が出ます。

「そら」と暮らすこと（ジャックラッセルテリア

ア17才）老犬との暮らしは愛しい日々です。

○これだけは言っておきたい事：広報誌「不老」

の編集に携わっています。

会員の皆様に楽しく読みやすいものをお届け

けしたいと思っていますので、ご意見、ご要

望などを是非お寄せ下さい。



大学委員長

早川 佳教

知多市

○今後の抱負：先日病院の薬袋に年齢八十才男性と記入されていました。間違いなく私は八十才ですが、何かアレ？と。後戻りはできない自分、何もしてこなかった自分の過去を反省！実感!!

随分遠回りをしてきたものだ、何もせずに

。献体はそんな自分が世の中に恩返しをさせて頂く最後の行動。健康長寿でピンピンコ

ロリと行きたいものです。

○好きな人：私は、五十才を過ぎたころからい

ろいろ病気をした。その時、大丈夫、大丈夫と支えてくれた義兄。

「病いがまた一つの世界をひらいてくれた

桃咲く」板村真民さんの詩で支えてくれた

妻。

○これだけは言っておきたい事：世の中にいろ

いろな物が豊かになると格差が生まれ、世界中で争い事が起こっています。戦争は解決に

なりません。戦争はダメです。日本が方向を

間違えないように望む。

○今後の抱負：組織委員会の目的は、各地区役



組織委員長

浅井 直樹

愛知西部

○今後の抱負：組織委員会の目的は、各地区役員の皆さんが活動しやすいようにサポートすることだと考えています。会員の皆さんが楽しく健康で交流できるよう、役員、事務局、委員のみなさんや各地区の皆さんの知恵の寄せ合い、力合わせをしたいです。

会員さんとの日頃の繋がりを大切にしたい

ただいていては各地区の活動は、それこそ、会

えない、集えない中で日々戸惑い、恒例行事

の中止など苦しい決断を次々に迫られて苦渋

の日々と思います。

ほとんどの会員さんはスマートフォンやガ

ラ系と言われる携帯電話をお持ちの時代で

す。人と人が直接会って会話したり、食事し

たりする事が難しくなっている今時には、新

しい人と人との繋がりを私達自身が探してい

く事が迫られています。

コロナを侮らず、恐れすぎず上手に付き合っていくためには、新しい通信手段をうまく優しく使って、会員と不老会の繋がりを深めていきたい、それにはどんな方法があるだろうかと、みなさんのお知恵を寄せ合っています。

○好きな事、人：好きな事というよりずっと続けたことはリサイクルを広める活動と、子どもや生きづらい状況を抱えた人々がいたわりあい、支えあう社会をつくるための、ボランティア活動です。

好きな歴史上の人物は坂本龍馬です。

○これだけは言っておきたい事：激しい台風や集中豪雨など、地球規模の気候変動、温暖化は、私達が直面している現実のそして最大の危機です。その原因は私たちの暮らしや経済の仕組みが、飽食と使い捨て型になっていることです。暮らしのスタイルや経済の仕組みをもったいない型、循環型に変えなければ子や孫の世代の未来は真つ暗です。

孫子が可愛かったら、家庭でいらなくなっ

た物は仕分けしてリサイクルを増やし、ごみを減らしましょう。できるだけ公共交通機関を使いましょう。もったいないを、新しい暮らしと経済のスタイルにしたいです。



総務委員長

杉山 雄彦

中村区

○今後の抱負：会員の皆様が、健康でよりよい人生を過ごしていただけるように、楽しいプログラムを提供していきます。

○今、好きな事：コロナ禍と自身の病気で行動が制限された約一年間、百年前、チベット大蔵経を求めて、ネパールからヒマラヤを越えて単身チベットに潜入した僧、河口慧海を想い、今関連書物を好んで読んでいます。

○これだけは言っておきたい事：人生が終わって骨になりやすらかに眠る前に、私たちは大事な役目(献体)があることを忘れないように、その日まで健全な日々を送って下さい。

健康・長寿を祈念して 愛知用水ゆかりの地へ

そうだ“遠足”に行こう!!



- 期日 令和3年3月3日(水)
 - 行先 名鉄寺本駅～佐布里パークロード～佐布里池までウォーキング(約5km)
- ※参加希望者は事務局 052(203)4580 までお電話を！
詳細をお送ります。

発起人(世話役)杉山 雄彦

● 林檎囀む若さ弾ける音がする

大府・東浦 野村 悦子

会員投稿 (五十音順)

不老会創立60周年記念事業の目的

不老会の創立60周年を記念して、一般県民及び会員の参集を得て記念式典を開催し、医学・歯学の人体解剖教育及び臨床医学の教育と研究のために遺体を無条件・無報酬で提供する「献体」の意義について、広く周知を図ることにより、多くの方の献体への理解を深めていただくとともに、会員登録への普及啓発に資する。

また、会員に対しては記念式典とともに記念公演を楽しんでいただき、献体（成願）のときまで健康で長生きされることを願うとともに、不献体にならないように周知する。

併せて、新しい生活様式を踏まえ、多くの会員の賛同を得られると思われるものについては、年間を通じての記念事業として取り組んでいくこととする。

不老会創立60周年記念事業のテーマの募集について

「不老会創立60周年記念事業実行委員会」では、会員の方々から記念事業のテーマを募集いたします。不老会の活動が令和3年度に60周年を迎えることを契機として、これまで献体が医療の発展と進歩に貢献できていること、また、今後も一層そうであるために相応しいと思われるテーマをお寄せください。

なお、応募は「ハガキ又はFAX」にて、【①60周年記念テーマ ②会員番号 ③お名前】を記載し、不老会事務局宛てにお寄せください。

応募の締め切りは、令和3年3月3日（水）です。多くの方の応募をお待ちしております。

なお、ご応募いただいたテーマは、実行委員会及び常務理事会にて選考され、令和3年4月開催予定の地区代表者会議の場で、決定したテーマを発表いたします。

〈参考：これまでのテーマ〉

- 45周年記念（平成19年）
いきいき人生の集い ～健康で長生きするために～
- 50周年記念（平成23年度）
明日の医療の発展を願って ～医療と献体～
- 55周年記念（平成28年度）
明日に向かって ～不老会の発展と医学生の将来の為に～